

第11回川崎病全国調査成績

厚生省川崎病研究班
(班長 川崎富作)

[連絡先] 〒329-04 栃木県河内郡南河内町薬師寺3311-1
自治医科大学公衆衛生学教室気付
川崎病研究班疫学調査事務局
(事務連絡担当：屋代真弓)
TEL 0285-44-2111 (内3109)

平成3年11月1日

はじめに

1970年に第1回川崎病全国調査が実施された。それ以来合計10回の全国調査が行なわれ、1988年12月末までの患者が把握されていたが^{1,2)}、今回1989年1月～1990年12月の2年間における初診患者を対象とした第11回全国調査の結果がまとまったのでその概要を報告する。

I. 方法

第11回川崎病全国調査は、1989年1月1日より1990年12月31日の2年間に小児科を併設する100床以上の病院、および小児科のみを標榜する100床未満の専門病院を受診した川崎病初診患者を対象にした。調査を依頼した施設のリストは、厚生省健康政策局総務課編「病院要覧1989年版」(医学書院発行)によって作成した。対象施設数は2,686カ所であった。

II. 調査結果

1. 回収率

調査依頼施設2,686カ所のうち、1,790施設(66.6%)から回答が得られた。報告された患者数は1989年の初診患者5,599人、1990年の初診患者5,698人の計11,297人であった。

2. 年次推移

過去10回の調査で報告された患者も含めると、1990年12月末までの報告患者は合計105,627人になった。年次推移をみると、表1、図1に示すように男女とも1970年頃から患者数は着実に増加する傾向がみられる。とくに1979年には前年の2.0倍、1982年には2.4倍、1986年には1.7倍の患者が発生し、疫学的に明らかな流行の様相を示した。今回の調査対象になった1989年、1990年は共に患者数は約5,500人で、とくに流行はみられなかった。

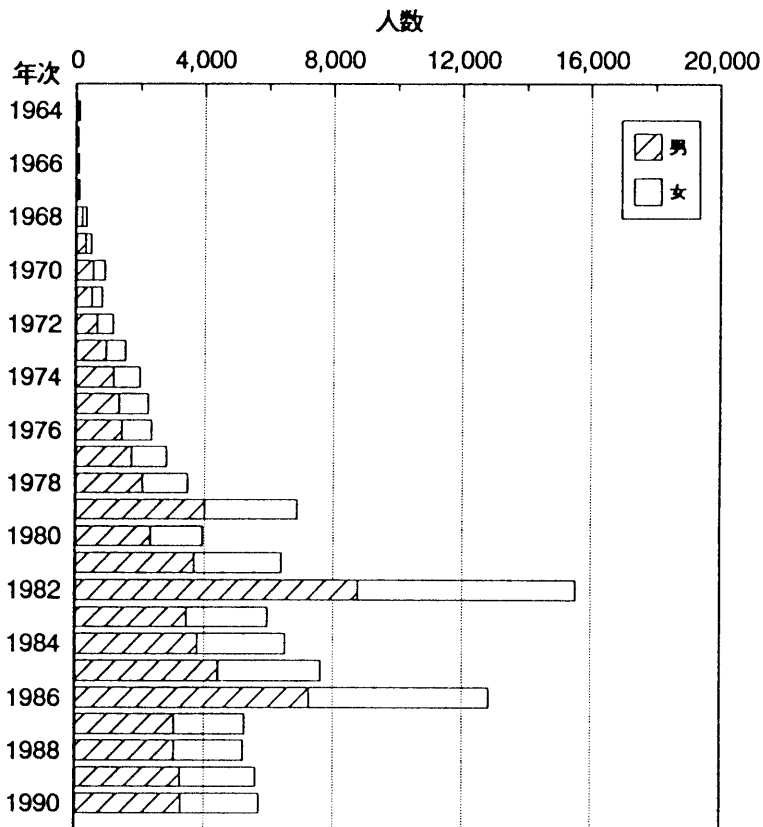
今回の調査で新たに20名(1989年8名、1990年12名)の死亡患者が報告され、過去の症例を合わせると合計383人になり、全体の平均致命率は0.4%であった。

致命率は1974年ごろまでは、1%以上の高率を示していたが、1975年以後低下傾向が持続し、1980年以後は0.3%以下の低率になっている。

表1 性別患者数、罹患率、死亡数、致命率の年次推移
(第1回-第11回全国調査)

年次	患者数			0~4歳10万対罹患率			死亡数 (致命率%)
	計	男	女	計	男	女	
~1964	88	58	30	1.1	1.4	0.8	-
1965	61	33	28	0.7	0.8	0.7	-
1966	79	49	30	1.0	1.2	0.9	-
1967	101	60	41	1.2	1.4	1.0	2(2.0)
1968	310	177	133	3.7	4.1	3.2	6(1.9)
1969	461	281	180	5.3	6.3	4.3	9(2.0)
1970	887	527	360	10.1	11.8	8.4	10(1.1)
1971	804	481	323	8.6	10.1	7.1	12(1.5)
1972	1,135	658	477	11.9	13.4	10.3	16(1.4)
1973	1,524	928	596	15.4	18.3	12.4	35(2.3)
1974	1,963	1,157	806	19.6	22.4	16.6	20(1.0)
1975	2,216	1,332	884	22.2	26.1	18.1	16(0.7)
1976	2,337	1,406	931	23.7	27.9	19.4	16(0.7)
1977	2,798	1,706	1,092	29.1	34.6	23.4	18(0.6)
1978	3,459	2,064	1,395	37.4	43.5	31.0	14(0.4)
1979	6,867	3,987	2,880	77.5	87.5	66.8	38(0.6)
1980	3,932	2,317	1,615	45.9	53.0	38.6	8(0.2)
1981	6,383	3,677	2,706	77.8	87.3	67.7	16(0.3)
1982	15,519	8,762	6,757	194.7	214.2	174.1	49(0.3)
1983	5,961	3,441	2,520	77.3	86.9	67.1	17(0.3)
1984	6,514	3,790	2,724	85.4	96.8	73.3	19(0.3)
1985	7,611	4,430	3,181	102.0	116.0	87.4	10(0.1)
1986	12,847	7,249	5,598	172.2	189.8	153.8	18(0.1)
1987	5,256	3,066	2,190	73.4	83.5	62.7	10(0.2)
1988	5,217	3,056	2,161	74.9	85.5	63.7	4(0.1)
1989	5,599	3,256	2,343	83.1	94.2	71.5	8(0.1)
1990	5,698	3,263	2,435	87.2	97.2	76.5	12(0.2)
計	105,627	61,211	44,416	-	-	-	383(0.4)

図1 年次別川崎病報告患者数
(第1回-第11回全国調査)



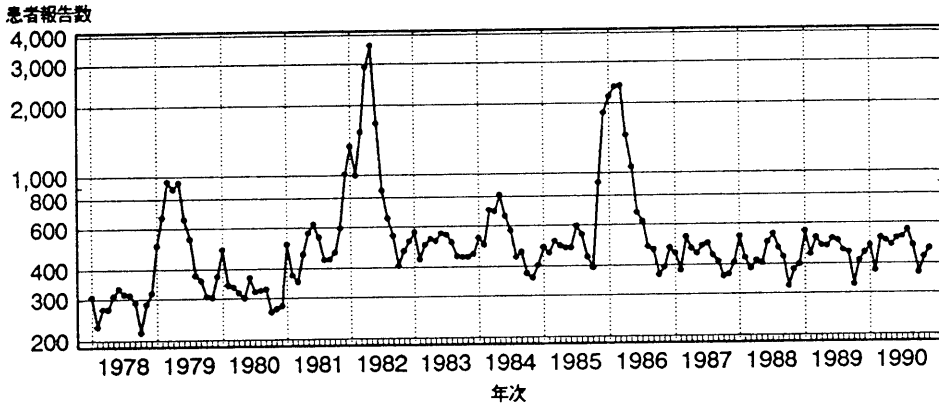
3. 性比

今回報告された2年間の患者数は男6,519人、女4,778人で、性比は1.4で男が多かった。性比はこれまで殆ど一定の値を維持してきたが、流行年には、性比はやや縮小する傾向がみられた。(例:1982年、1986年は1.3である。)

4. 月別患者数

今回の第11回調査までの過去13年間(1978-1990年)について月別患者報告数をみると、図2に示すように1979年3-5月、1981年12月-1982年6月、1985年12月-1986年5月の3回にわたって患者数の大幅な増加がみられ、疫学的に流行と判断された。そのほかに1981年5-7月、1984年3-6月にも小さな山がみられた。図には示していないが、1984年の山は首都圏およびその周辺の関東地方に目だって高かった。

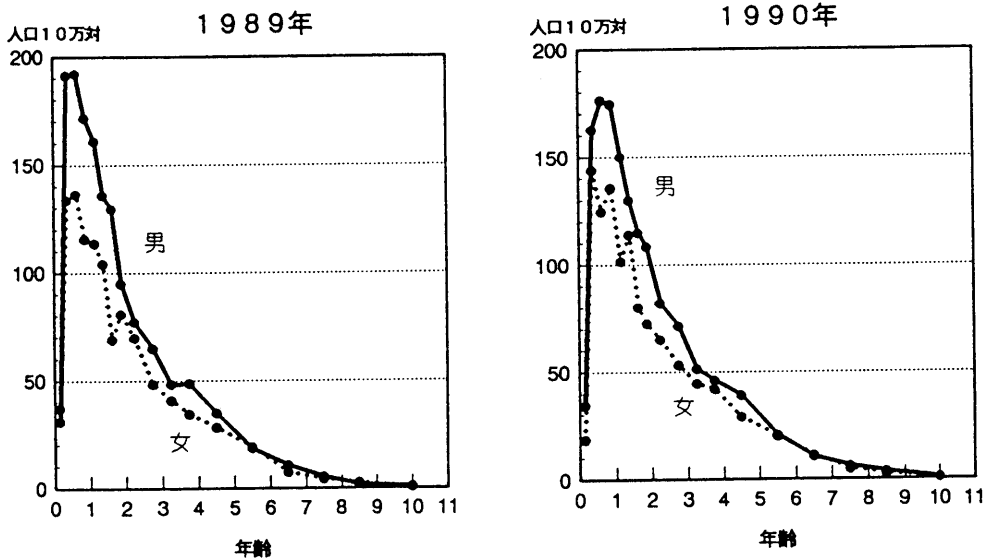
図2 年次別月別川崎病患者報告数
(第5回-第11回全国調査)



5. 年齢別罹患率

図3は1989年、1990年の性別年齢別罹患率(両年共人口は1989年の推計人口を用いた。資料:総理府統計局統計調査部労働力統計課推計、日本の統計、平成2年、総理府統計局編 P14)を示す。罹患率は1989年では6-8カ月にピークがあり、人口10万対男192.0、女136.4、1990年では、男は6-8カ月にピークがあり、人口10万対176.5、女は3-5カ月にピークがあり、人口10万対144.2であった。両年とも一峰性のカーブを示し、4歳未満の患者は全体の80.4%を占めていた。またとくに1989年では0歳後半から1歳前半にかけて男女差が開いていた。

図3 性別、年齢別罹患率
(第11回全国調査)



6. 都道府県別罹患率

表2に都道府県別、年次別、性別患者数を示す。2年間の患者報告数が最も多いのは、東京1,096人、次いで神奈川737人、大阪663人、埼玉596人と
なっていた。

表2 都道府県別、年次別、性別患者数
(第11回全国調査)

	患 者 数								
	計			1989			1990		
	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女
総 数	11297	6519	4778	5599	3256	2343	5698	3263	2435
1 北海道	552	308	244	287	153	134	265	155	110
2 青森	131	73	58	60	31	29	71	42	29
3 岩手	92	54	38	50	31	19	42	23	19
4 宮城	297	181	116	127	73	54	170	108	62
5 秋田	69	38	31	35	21	14	34	17	17
6 山形	140	84	56	70	44	26	70	40	30
7 福島	85	52	33	39	24	15	46	28	18
8 茨城	286	156	130	123	70	53	163	86	77
9 栃木	165	97	68	78	41	37	87	56	31
10 群馬	212	123	89	109	63	46	103	60	43
11 埼玉	596	343	253	295	176	119	301	167	134
12 千葉	502	292	210	256	154	102	246	138	108
13 東京都	1096	611	485	570	327	243	526	284	242
14 神奈川県	737	448	289	368	221	147	369	227	142
15 新潟	229	138	91	101	63	38	128	75	53
16 富山	98	56	42	47	28	19	51	28	23
17 石川	141	92	49	66	36	30	75	56	19
18 福井	99	55	44	52	27	25	47	28	19
19 山梨	86	50	36	44	27	17	42	23	19
20 長野	183	91	92	89	40	49	94	51	43
21 岐阜	218	121	97	120	63	57	98	58	40
22 静岡県	354	185	169	177	102	75	177	83	94
23 愛知県	532	282	250	263	147	116	269	135	134
24 三重	175	91	84	82	45	37	93	46	47
25 滋賀	165	107	58	64	45	19	101	62	39
26 京都	238	147	91	116	69	47	122	78	44
27 大阪府	663	394	269	308	184	124	355	210	145
28 兵庫県	557	316	241	268	154	114	289	162	127
29 奈良	119	76	43	52	34	18	67	42	25
30 和歌山	141	88	53	76	48	28	65	40	25
31 鳥取	55	38	17	30	20	10	25	18	7
32 島根	68	40	28	31	18	13	37	22	15
33 岡山	132	77	55	80	49	31	52	28	24
34 広島	250	159	91	133	90	43	117	69	48
35 山口	124	69	55	74	42	32	50	27	23
36 徳島	88	43	45	41	20	21	47	23	24
37 香川県	117	63	54	54	31	23	63	32	31
38 愛媛	162	96	66	68	37	31	94	59	35
39 高知県	67	43	24	33	22	11	34	21	13
40 福岡	519	318	201	273	173	100	246	145	101
41 佐賀	83	39	44	45	23	22	38	16	22
42 長門	111	67	44	65	36	29	46	31	15
43 熊本	152	89	63	79	47	32	73	42	31
44 大分	120	70	50	68	35	33	52	35	17
45 宮崎	104	57	47	49	28	21	55	29	26
46 鹿児島	128	72	56	57	30	27	71	42	29
47 沖縄	47	24	23	24	12	12	23	12	11
48 不明	12	6	6	3	2	1	9	4	5

各年の都道府県別罹患率を0-4歳の人口10万に対する割合で計算したものが表3である。表に示すように、1989年には和歌山が最も高く120.6、次いで、福井100.0、岐阜96.8、石川94.3の順であった。1990年には、滋賀129.5、宮城114.9、石川107.1、香川103.3などが高かった。2年間を通して明らかな地域差はみられず、流行は認められなかった。

表3 都道府県別、年次別罹患率(0-4歳人口10万対)
(第9回-第11回全国調査)

県名	1985	1986	1987	1988	1989	1990
0 全国	102.0	172.2	73.4	74.9	83.1	87.2
1 北海道	70.7	307.4	88.6	84.1	81.5	75.3
2 青森	60.6	226.3	52.5	68.7	60.6	71.7
3 岩手	49.5	175.8	49.5	54.9	54.9	46.2
4 宮城	109.5	293.2	78.4	79.7	86.5	114.9
5 秋田	47.3	255.4	51.4	66.2	47.3	45.9
6 山形	71.8	261.5	87.2	89.7	89.7	89.7
7 福島	66.7	151.8	40.4	36.2	27.7	32.6
8 茨城	79.9	146.9	76.5	55.9	68.7	91.1
9 栃木	60.5	142.7	77.4	68.5	62.9	70.2
10 群馬	119.2	222.5	75.0	66.7	90.8	85.8
11 埼玉	118.0	99.5	61.2	47.5	80.6	82.2
12 千葉	155.0	204.9	82.3	82.9	78.3	75.2
13 東京都	178.1	198.7	76.9	76.1	91.9	84.8
14 神奈川県	225.8	203.1	87.7	85.7	82.5	82.7
15 新潟	111.1	212.4	45.8	66.0	66.0	83.7
16 富山	79.4	130.2	68.3	54.0	74.6	81.0
17 石川	85.7	104.3	75.7	84.3	94.3	107.1
18 福井	90.4	148.1	105.8	80.8	100.0	90.4
19 山梨	142.0	120.0	86.0	80.0	88.0	84.0
20 長野	125.2	255.1	71.7	65.4	70.1	74.0
21 岐阜	75.8	196.0	81.5	91.1	96.8	79.0
22 静岡県	111.8	110.5	72.4	75.4	77.6	77.6
23 愛知県	56.1	181.7	66.1	67.6	64.1	65.6
24 三重	82.7	180.8	72.1	67.3	78.8	89.4
25 滋賀	71.8	123.1	66.7	73.1	82.1	129.5
26 京都	68.2	121.9	73.5	78.2	76.8	80.8
27 大阪	55.7	77.9	53.2	67.1	59.6	68.7
28 兵庫県	81.2	128.4	74.4	70.7	82.7	89.2
29 奈良	67.5	110.0	56.3	68.8	65.0	83.8
30 和歌山	96.8	209.5	68.3	98.4	120.6	103.2
31 鳥取	105.0	152.5	47.5	47.5	75.0	62.5
32 島根	85.4	143.8	79.2	87.5	64.6	77.1
33 岡山	64.1	176.9	53.0	56.4	68.4	44.4
34 広島	96.0	292.0	70.1	82.8	76.4	67.2
35 山口	108.5	209.8	74.5	76.6	78.7	53.2
36 徳島	82.0	186.0	114.0	82.0	82.0	94.0
37 香川	95.1	198.4	62.3	62.3	88.5	103.3
38 愛媛	157.0	192.5	97.8	111.8	73.1	101.1
39 高知	79.6	128.6	65.3	42.9	67.3	69.4
40 福岡	91.9	163.8	73.6	66.4	88.9	80.1
41 佐賀	91.7	133.3	51.7	40.0	75.0	63.3
42 長門	80.4	148.6	50.5	43.9	60.7	43.0
43 熊本	67.5	69.2	60.8	56.7	65.8	60.8
44 大分	72.4	215.8	88.2	81.6	89.5	68.4
45 宮崎	82.7	106.2	51.9	42.0	60.5	67.9
46 鹿児島	34.4	59.0	66.4	42.6	46.7	58.2
47 沖縄	54.5	89.1	34.7	38.6	23.8	22.8

都道府県別罹患率は各年次とも1985年の国勢調査人口を用いて計算した。全国の罹患率は各年次の推計人口を用いて計算した。現住所不明のものは計算から除外した。

7. 治療状況

治療薬剤の使用状況をみると、図4に示すようにステロイド治療を受けたものの割合は1982年には9.5%であったのに対し、1990年には1.2%まで低下した。アスピリン治療を受けたものは各年とも90%前後で殆ど変化がみられなかった。抗生物質の投与を受けたものも60%～70%でほぼ一定であった。γグロブリンの治療を受けたものは1982年にはわずか2.5%であったが、年次とともに急速な上昇傾向を示している。1988年には50%を越え、1990年には69.3%まで増加した。

8. 同胞例、再発例、死亡例、心後遺症例の出現状況

1989年、1990年の2年平均で同胞例ありのものは全報告例の1.2%を占めていた。また、再発例は3.5%、死亡例は0.18%、心後遺症例は13.1%の患者にみられた。

1982年以來の年次推移をみると、図5に示すように同胞例、再発例、心後遺症例の出現頻度には、年次による著しい変化はみられなかった。死亡例の割合は、1982-1984年には0.3%みられたが、最近は0.1-0.2%の範囲である。

図4 年次別薬剤の使用状況
(第8回-第11回全国調査)

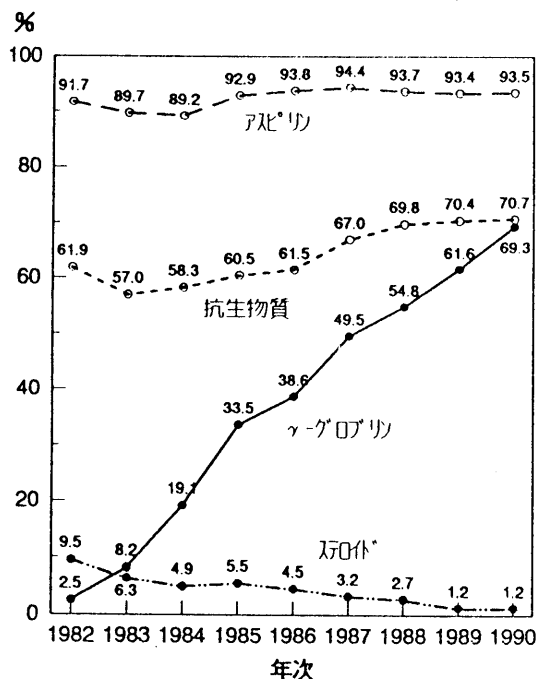


図5 年次別同胞例、再発例、死亡例、心後遺症例の出現状況
(第8回-第11回全国調査)

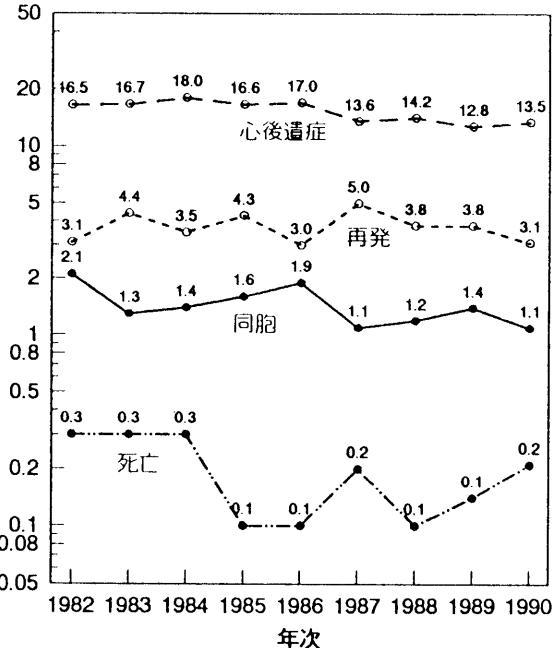
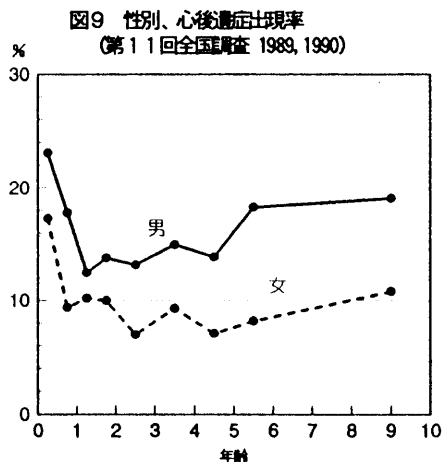
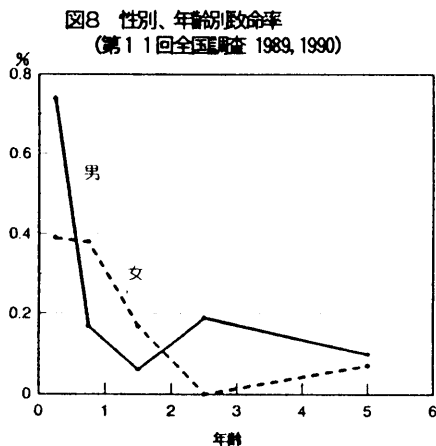
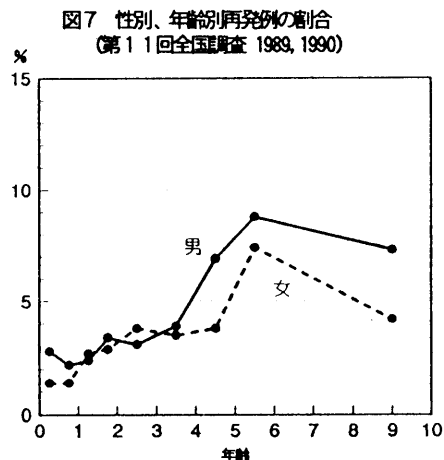
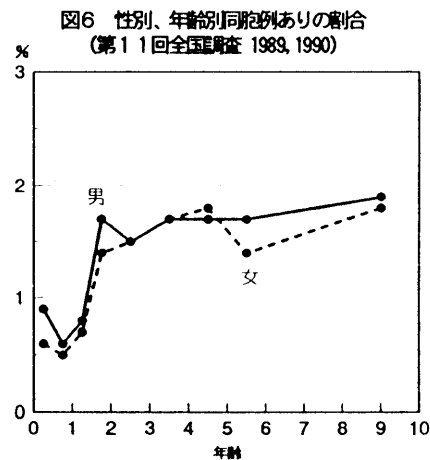


図6は同胞例ありのものの割合を性年齢別にみたものであり、1歳6カ月未満のものでは男女とも低率であった。1歳6カ月以降約2倍に上昇したあとはとくに変化はみられなかった。1歳6カ月未満のものに同胞例ありの割合が低いのは、罹患しやすい年齢層の同胞数が少ないためと思われる。図7は再発例の割合を性年齢別にみたものである。再発例の割合は年齢の増加とともに上昇していた。とくに5歳代で最も高く、男8.8%、女7.4%まで上昇した後、わずかに下降していた。図8は性年齢別致命率を示す。年齢別にみると0歳前半の6カ月未満が最も高く、男0.7%、女0.4%であった。1歳以降は男女とも0.2%未満に低下していた。性差は特に0歳前半で大きく男が高くなっていた。心後遺症の出現率は、図9に示すように2年平均で、男15.8%、女9.9%で全年齢を通して、男が女に比べて高く、男は女の1.6倍であった。また、年齢別では6カ月未満で最も高く、男23.1%、女17.3%であった。6歳以上の年齢でも男女とも高くなる傾向がみられた。



Ⅲ. 要約

小児科を併設する100床以上の病院、および小児科のみを標榜する100床未満の専門病院2,686施設に1989年1月～1990年12月の2年間に受診した川崎病初診患者を対象に全国疫学調査を実施した結果、以下の成績を得た。

1. 調査を依頼した2,686施設のうち、1,790施設(66.6%)より回答が得られ、報告患者数は11,297人(1989年5,599人、1990年5,698人)であり、1989年、1990年ともほぼ同数の患者が報告され、とくに流行はみられなかった。

2. 性、年齢別罹患率は0歳代にピークを有する一峰性曲線で、4歳未満の患者が全体の80.4%を占め、男女比は1.4であった。

3. 2年平均の同胞例ありの割合は1.2%、再発例3.5%、死亡例0.18%、心後遺症例13.1%であった。

4. 心後遺症出現率は全年齢を通して男が高く、致命率は男女とも1歳未満で最も高かった。

5. ガンマグロブリンの治療を受けたものの割合が年次とともに上昇し、1990年には69.3%になった。

おわりに

第1回全国調査以来終始変わらぬご協力を賜った関係医療機関の小児科医各位に対し、本研究班として深く感謝します。

(今回の調査にご協力いただいた全国1,790施設の協力施設名を巻末に付記します。)

文献

1) 柳川洋：川崎病の全国調査成績、川崎病疫学データのすべて(日本心臓財団川崎病原因究明委員会編)、P.37-51、ソフトサイエンス社、東京、1986。

2) 厚生省川崎病研究班：第10回川崎病全国調査成績、小児科、31(5):569-576、1990。

協力施設名

北海道：

国療西札幌病院
 国立函館病院
 国立療養所道北病院
 国立療養所八雲病院
 北大医学部附属病院
 札幌鉄道病院
 NTT札幌病院
 札幌医大附属総合病院
 道立札幌肢体不自由児総合療育センター
 旭川肢体不自由児総合療育センター
 道立羽幌病院
 市立札幌病院
 市立函館病院
 市立江別総合病院
 市立三笠総合病院
 市立三笠総合病院
 国民健康保険町栗沢病院
 岩見沢市立総合病院
 市立美瑛病院
 町立長沼病院
 砂川市立病院
 市立赤平総合病院
 市立芦別病院
 深川市立総合病院
 市立旭川病院
 上川町立病院
 名寄市立総合病院
 市立室蘭総合病院
 白老町立国民健康保険病院
 平取町立国民健康保険病院
 町立茅室病院
 市立釧路総合病院
 市立根室病院
 町立別海病院
 美幌町立国民健康保険病院
 北海道厚生連上湧別厚生病院
 市立稚内病院
 留萌市立総合病院
 函館赤十字病院
 栗山赤十字病院
 伊達赤十字病院
 総合病院浦河赤十字病院
 清水赤十字病院
 総合病院釧路赤十字病院
 小清水赤十字病院
 小樽北生病院
 小樽病院
 富良野病院
 余市病院
 岩内病院
 社会事業協会・帯広総合病院
 札幌厚生病院
 沼田厚生病院
 旭川厚生病院
 倶知安厚生病院
 帯広厚生病院
 網走厚生病院
 総合病院遠軽厚生病院
 北海道社会保険中央病院
 札幌第1病院
 (医療) 貞仁会 機似病院
 夕張市立病院
 日蘭記念病院
 王子総合病院
 (社福) 函館厚生院 函館五稜郭病院
 函館中央病院
 天使病院
 勤労者医療協会札幌病院
 (医社) 仁生会 西堀病院
 大原病院
 陸上自衛隊札幌地区病院

木古内町国民健康保険病院
 足寄町国民健康保険病院
 幌南病院
 博愛病院
 金谷病院
 西村病院
 今金町国民健康保険病院
 東ヶ丘病院
 旭川医科大学医学部附属病院
 小児愛育協会附属愛育病院
 北海道療育園
 動医協中央病院
 恵愛病院
 (医療) 使徒ルカ会 ルカ病院
 使徒ルカ会手稲ルカ病院
 道立小児総合保健センター
 愛静病院
 労働福祉事業団 美瑛労災病院
 新雨竜病院
 (医療) 道北動医協 一条通病院
 登別厚生年金病院
 (医社) 上田病院
 (医療) 室蘭太平洋病院
 労働福祉事業団 釧路労災病院
 町立厚岸病院
 小島病院
 市立士別総合病院
 八雲総合病院
 医療法人社団刀圭会協立病院
 動医協札幌北区病院
 札幌マタニティホスピタル
 医療法人社団英仁会礼苗病院
 医療法人徳洲会札幌東徳洲会病院
 医療法人徳洲会札幌徳洲会病院
 医療法人弘仁会中川病院
 幌東病院
 吉田病院
 動医協札幌西区病院
 医療法人社団杏葉会札幌立花病院
 手稲溪仁会病院
 稲積公園病院
 西成病院
 函館市医師会病院
 医療法人道南動医協函館校北病院
 恵み野病院
 豊岡中央病院
 医療法人恵生会吉田整形外科病院
 旭川市第一内科病院
 太平洋炭鉱株式会社太平洋病院
 シロアム病院
 斜里町国民健康保険病院

青森県：

国立弘前病院
 青森県立中央病院
 青森市民病院
 八戸市立市民病院
 黒石市国保黒石病院
 浪岡町立病院
 鶴田町立中央病院
 錦ヶ沢町立中央病院
 公立野辺地病院
 十和田市立中央病院
 むつ総合病院
 国保三戸中央病院
 八戸赤十字病院
 鳴海病院
 (医療) 同仁会 浪打病院
 津軽保健生活協賛代健生病院
 (医療) 誠仁会 尾野病院
 弘前市立病院

中部病院

(医療) 清照会 湊病院
 青森労災病院
 国立療養所岩木病院
 財団法人鷹揚郷賢研究所弘前病院
 津軽保健生活協同組合健生病院
 弘前小野病院
 シルバー温泉病院
 医療法人慈仁会尾野病院
 医療法人赤心会十和田東病院

岩手県：

岩手県立中央病院
 岩手県立釜石病院
 岩手県立宮古病院
 岩手県立胆沢病院
 岩手県立磐井病院
 岩手県立高田病院
 岩手県立福岡病院
 盛岡市立病院
 釜石市民病院
 盛岡赤十字病院
 北上済生会病院
 (財) 総合花巻病院
 (医療) 一徳病院
 国療釜石病院
 国立療養所盛岡病院
 都南の園
 岩手県立山田病院
 岩手県立北上病院
 川久保病院
 国保葛巻病院
 岩手県立遠野病院
 医療法人遠山病院
 財団法人みちのく愛隣協会東八幡平病院

宮城県：

国立仙台病院
 国療宮城病院
 東北大学医学部附属病院
 東北大学病院 鳴子分院
 JR仙台病院
 仙台通信病院
 総合病院仙台市立病院
 塩釜市立病院
 古川市立病院
 公立気仙沼総合病院
 公立黒川病院
 総合病院仙台赤十字病院
 石巻赤十字病院
 東北厚生年金病院
 東北公済病院
 (財) 宮城厚生協会坂総合病院
 (医療) 仙南病院
 (医療) 金上仁友会 金上病院
 国療西多賀病院
 仙台社保病院
 宮城健康保健病院
 光ヶ丘スベルマン病院
 東北大学抗酸菌病研究所附属病院
 東北通信病院
 (財) 宮城厚生協会 長町病院
 (財) 仙台循環器病センター
 南浜中央病院
 宮城県拓殖医療教育センター
 医療法人徳洲会仙台徳洲会病院
 医療法人社団原陽会中嶋病院
 医療法人實樹会仙塩総合病院
 公立米谷病院

秋田県：
秋田県立脳血管研究センター
大館市立総合病院
町立扇田病院
男鹿市立総合病院
市立秋田総合病院
公立角館総合病院
公立横手病院
秋田赤十字病院
鹿角組合総合病院
湖東総合病院
秋田組合総合病院
仙北組合総合病院
平鹿総合病院
雄勝中央病院
（医療）明和会 中通病院
（医療）運忠会 土崎病院
公立米内沢総合病院
秋田県立療育園
秋田県厚生農協連 北秋中央病院
藤原記念病院
国療秋田病院
今村病院

山形県：
山形県立中央病院
山形県立新庄病院
天童市立病院
山形市立病院済生館
市立酒田病院
鶴岡市立荘内病院
南陽市立総合病院
公立高島病院
長井市立総合病院
米沢市立病院
山形県立河北病院
山形大学病院
鶴岡協立病院
遊佐病院
国療山形病院
医療法人舟山病院

福島県：
国立郡山病院
福島県立医科大学附属病院小児科
福島県立三春病院
福島県立会津総合病院
公立岩瀬病院
公立小野町地方総合病院
いわき市立常磐病院
福島赤十字病院
（社福）済生会 福島総合病院
福島県厚生農協連瑞厚生院
福島県厚生農協連坂下厚生総合病院
福島県厚生農協連鹿島厚生病院
（財）大原総合病院
（財）太田総合病院付属太田熱海病院
（財）寿泉堂総合病院
（財）竹田総合病院
（財）穴沢病院
（財）竹林病院
（医療）小野田病院
福島整肢療護園
国療福島病院
（財）仁泉会医学研究所保原中央病院
（財）星総合病院
（医療）保科病院
（医療）土屋病院
（医療）安積保養園
（社医）呉羽総合病院

医療法人慈久会 谷病院
済生会川俣病院
（財）香久山病院
（財）会田病院
国立療養所翠ヶ丘病院
中村病院
医療生協わたり病院
医療法人昨雲会飯塚病院
福島県心身障害児総合療育センター
医療法人明信会今泉西病院
医療法人新白河中央病院
公立相馬総合病院
社団医療法人養生会かしま病院

茨城県：
国立霞ヶ浦病院
茨城県立こども福祉医療センター
茨城県立中央病院
水戸済生会総合病院
総合病院水戸協同病院
総合病院土浦協同病院
国公共済連水府病院
（医療）保内郷厚生会保内郷病院
東京医科大学病院霞ヶ浦病院
株式会社日立製作所多賀総合病院
株式会社日立製作所 水戸病院
東西総合病院
（医療）養病院
株式会社日立製作所日立総合病院
下館市民病院
筑波大学病院
猿島赤十字病院
茨城県立コロニーあすなろ病院
（医療）住吉クリニック病院
（医療）仁愛会 茅根病院
（医療）愛正会 田尻ヶ丘病院
日立港病院
社団常仁会 牛久愛和病院
（医療）美湖会 美浦中央病院
（財）筑波学園病院
城西病院
（医療）友愛会 友愛記念病院
北茨城市立病院
高萩協同病院
医療法人誠潤会城北病院
医療法人青心会丹野病院
医療法人宗仁会宗仁会第一病院
石岡市医師会病院
財団法人筑波カレッジ病院
医療法人筑波記念病院
きぬ医師会病院
守谷慶友病院
猿島協同病院
国立療養所晴嵐荘病院
原病院

栃木県：
国立栃木病院
小山市民病院
栃木県南総合病院
大田原赤十字病院
栃木県済生会 宇都宮病院
上都賀総合病院
石橋病院
栃木県厚生農協連塩谷病院
宇都宮社会保険病院
下都賀郡市医師会病院
御殿山病院
古河記念病院
（医療）博愛会菅間病院

県立阿木台病院
国療足利病院
自治医科大学附属病院
獨協医科大学病院
（医療）十全会 上野病院
（医療）明倫会 今市病院
（医療）薫会 菅又病院
白澤病院
那須中央病院
栃木県身体障害者医療福祉センター
宇都宮第一病院
西方病院
とちの木病院
佐野医師会病院

群馬県：
国立高崎病院
国立沼田病院
国立渋川病院
群馬大学医学部総合病院
群馬県立がんセンター東毛病院
桐生厚生総合病院
多野総合病院
碓氷病院
伊勢崎市民病院
邑楽館林医療事務組合館林厚生病院
前橋赤十字病院
社保群馬中央総合病院
総合太田病院
利根中央病院
伊勢崎福島病院
（財）伊勢崎佐波医師会病院
（医療）原病院
（医療）岸会岸病院
群馬県済生会 前橋病院
前橋協立病院
重症心身障害児施設はんなさわらび学園
（医療）高木会 高木病院
希望の家療育病院
榛名荘病院
群馬整肢療護園
高崎中央病院
太田福島総合病院
北毛保健生活協同組合北毛病院
下仁田厚生病院

埼玉県：
国立埼玉病院
蕨市立病院
川口市国保川口市市民病院
春日部市立病院
草加市立病院
大宮赤十字病院
小川赤十字病院
深谷赤十字病院
埼玉県済生会川口総合病院
埼玉厚生農協連熊谷総合病院
社保埼玉中央病院
川口工業総合病院
（財）鳩ヶ谷中央病院
戸田中央総合病院
（医社）米寿会 上尾中央総合病院
（医療）愛生会病院
（医療）丸山記念総合病院
（医療）橋会 飯能中央病院
埼玉医科大学附属病院
浦和市立病院
国療東埼玉病院
越谷市立病院
埼玉厚生連幸手総合病院

(医社) 新座志木中央総合病院
(医法) 社団武蔵野会朝霞台中央病院
中村病院
南埼玉病院
(医財) 明理会 鶴瀬病院
防衛医科大学校病院
(医社) 東光会 戸田中央産院
(医療) あかつき会 鳩ヶ谷病院
埼玉中央医療生協 埼玉協同病院
埼玉県立ガンセンター
大宮市医師会 市民病院
武蔵野病院
浅野病院
菅野総合病院
(医療) 福寿会 埼玉回生病院
(医療) 刀仁会 坂戸中央病院
(医療) 武蔵野総合病院
上福岡総合病院
日生病院
埼玉県立寄居こども病院
(医療) 光仁会 春日部厚生病院
三郷順心病院
春日部秀和病院
独協医科大学越谷病院
越谷誠和病院
医療法人ナトメツク七里病院
志木市立救急市民病院
医療法人社団堀ノ内病院
医療法人赤心堂病院
埼玉医科大学総合医療センター
東松山市立市民病院
医療法人上武病院
医療法人社団哺育会白岡中央病院
医療法人社団純真会せんげん台病院
医療法人小林病院
医療法人財団石心会狭山病院
医療法人明晴会西武入間病院
西川病院

千葉県 :

国立千葉病院
国立精神・神経セナ-国府台病院
国立習志野病院
千葉大学病院
千葉県立佐原病院
千葉県立東金病院
浦安市市川市病院組合葛南病院
国保松戸市立病院
銚子市立総合病院
総合病院国保旭中央病院
国保八日市場市立病院
国保直営総合病院君津中央病院
国保成東病院
成田赤十字病院
済生会船橋済生病院
社保船橋中央病院
川崎健保組合千葉病院
(医療) 蘇我病院
(医療) 博正会 北条病院
(医療) 明星会 東条病院
東京歯科大学市川病院
キッコーマン総合病院
公立長生病院
ロザリオの元后会 海上療養所
国療千葉東病院
藤立病院
医療法人社団潮仁会我孫子中央病院
田中農協病院
千葉県千葉リハビリテーションセンター
(医財) 明理会付属新松戸中央病院
(医療) 三矢会 両総病院

千葉労災病院
(医法) 成春会 北習志野花輪病院
(医社) 勤労者医協 船橋二和病院
船橋病院
柏厚生病院
津田沼中央病院
(医社) 柏水会 初石病院
千葉市立海浜病院
順天堂大学医学部附属順天堂浦安病院
医療法人川崎病院
船橋市立医療センター
流山病院
医療法人社団保健会谷津保健病院
医療法人親月会千葉中央病院
帝京大学医学部附属市原病院
(医法) 新都市医療研究会玄々堂君津病院
鈴木病院
医療法人社団宗仁会我孫子病院
東京慈恵会医科大学附属柏病院
勝田台病院

東京都 :

国立がんセンター
国立病院医療センター
国立小児病院
国立大蔵病院
国立王子病院
国立立川病院
東京大学病院分院
東京医科歯科大学病院
東京専売病院
J R 東京総合病院
東京通信病院
自衛隊中央病院
大蔵省印刷局東京病院
東京都立築地産院
都立墨東病院
都立荏原病院
都立広尾病院
都立北療育医療センター
都立豊島病院
都立清瀬小児病院
青梅市立総合病院
稲城市立病院
町田市民病院
公立昭和病院
日本赤十字社医療センター
東京都国保団体連合会 福生病院
社保中央総合病院
社保都南総合病院
東京厚生年金病院
東京船員保険病院
日本通運健保東京病院
東京自動車連健保柳橋病院
国公共済連九段坂病院
虎の門病院
国公共済連三宿病院
東京共済病院
国家公務員共済組合連合会立川病院
厚生中央病院
東京警察病院
(社) 都教職員互助会 三楽病院
(財) 聖路加国際病院
(社) 北里研究所病院
永寿総合病院
(財) 日産厚生会 玉川病院
(社) 至誠会 第二病院
(財) 親馬総合病院
(財) 仁和会総合病院
(財) 天誠会 武蔵境病院
国分寺病院
緑成会病院
(医財) 寿康会病院
(医社) 江東病院
(医財) 仁医会 牧田総合病院
(医) 小林記念会 城南総合病院
田園調布中央総合病院
(医社) 大成会 長沙病院
(医社) 関川総合病院
(医) 同潤会 富士見病院
(医社) 慈誠会 上板橋病院
(医在) 梅田病院
(医) 西新井病院
同愛会病院
(医社) 大坪会 北多摩病院
府中王平病院
(医財) 大和会東大和病院
杏林大学病院
(医療) 田無病院
東京慈恵会医科大学病院
東京女子医科大学病院
慶応義塾大学病院
日本医科大学病院
昭和大学病院
東邦大学 大橋病院
東邦大学 大森病院
東京女子医科大学 第2病院
日本大学 附属板橋病院
慈恵医科大学 附属病院第3病院
東京電力病院
小平記念東京日立病院
東芝中央病院
三井記念病院
母子愛育会総合母子保健センター愛育医院
(社福) 聖母会 聖母病院
(社福) 浅草寺病院
(社福) 賛育会 賛育会病院
(社福) 同愛記念病院
(社福) あそか会 あそか病院
(社福) 康和会 久我山病院
東京医療生協組合 中野総合病院
立正佼成会 附属佼成病院
東京衛生病院
(社福) 新栄会 滝野川病院
尾竹橋病院
(社福) 勝楽堂病院
(社福) 東京都同胞援助会 昭島病院
(社福) 鶴風会東京小児療育病院
南台病院
赤羽中央病院
ロイヤル病院
西窪病院
佐々病院
青山病院
(医社) 民衆病院
(医療) 清恵会 藤原病院
緑風荘病院
総合病院下田病院
養本病院
都立府中病院
板橋区医師会病院
帝京大学病院
誠志会病院
西武中央病院
東京警察病院 多摩分院
日本医科大学 多摩永山病院
(財) 博慈会記念総合病院
(財) 秋津療育園
(社福) 聖ヨハネ会 桜町病院
都立王子小児病院
(医社) 愛育会 協和病院
東京健生病院
(医社) 鐘育会 浅草病院

(医社)城南福祉医療協会 ゆたか病院
(医財)東京厚生会 大森記念病院
西荻中央病院
田端中央病院
東京都立荒川産院
(医社)板橋中央産院
(医社)健育会 竹川病院
(医社)水野病院
秀島病院
東光会 戸田中央総合病院分院第一病院
国立精神神経センター武蔵病院
社団青葉会 一橋病院
国康東京病院
東京都立北療育医療センター
医療法人社団健全会立川相互病院
東京都立民生病院
医療法人社団誠和会白鬚橋病院
幸和病院
東京都立大塚病院
医療法人社団城原会赤羽病院
心身障害児総合医療療育センター
医療法人社団大坪会東和病院
医療法人財団慈光会堀切中央病院
医療法人社団福仁会小松川病院
川柴病院

神奈川県:

国立横浜病院
神奈川県立足柄上病院
横浜市立港湾病院
横浜市立大学病院
横浜市立市民病院
川崎市立川崎病院
平塚市民病院
茅ヶ崎市立病院
小田原市立病院
三浦市立病院
横浜赤十字病院
津久井赤十字病院
済生会 神奈川県病院
神奈川県厚生農協連相模原協同病院
社保横浜中央病院
横浜船員保険病院
住友重機械工業浦賀健保組合浦賀病院
横浜南共済病院
横浜栄共済病院
国公共済連総合病院横須賀共済病院
国公共済連 稲田登戸病院
横須賀北部共済病院
国公共済連総合病院平塚共済病院
(財)神奈川県警友会警友総合病院
(医療)柏堤会 戸塚共立病院
(医療)平和会 平和病院
(医療)育成会 鹿島田病院
(医社)愛成会 京浜総合病院
(医社)和光会 川崎臨港病院
(医療)愛仁会 太田総合病院
(医社)亮正会総合高津中央病院
日本医科大学 附属第二病院
三菱重工業大倉山病院
日立製作所 戸塚総合病院
(社福)国際親善総合病院
総合病院 聖ヨゼフ病院
(社福)湘南福祉協会総合病院湘南病院
国立横浜東病院
関東労災病院
横浜市小児アレルギーセンター
総合病院栗野赤十字病院
伊勢原協同病院
虎の門病院分院
(社団)日本厚生団長津田厚生総合病院

横浜通信病院
神奈川県立こども医療センター
藤沢市民病院
横浜勤労者福祉協会 汐田病院
(医療)同愛会 小沢病院
(医療)小林病院
昭和大学 藤が丘病院
聖マリアンナ医科大学病院
東海大学医学部病院
北里大学病院
帝京大学医学部 附属溝口病院
川崎協同病院
(医療)芳生会 保土ヶ谷病院
神奈川県リハビリテーション病院
(医社)黄十字会 鈴木病院
恩賜財団済生会 横浜市南部病院
(医療)明芳付属横浜旭中央病院
神奈川県衛生看護専門学校附属病院
(医社)青葉会 牧野記念病院
横須賀市立市民病院
(医療)大船病院
(医社)鐘育会 新相模原病院
相模原中央病院
(医療)徳洲会 大和徳洲会病院
桜ヶ丘中央病院
(医療)徳洲会 茅ヶ崎徳洲会病院
赤枝病院
金沢文庫病院
ブラザ記念病院
東海大学大磯病院
医療法人仁愛会海老名総合病院
医療法人社団緑成会横浜総合病院
医療法人財団石心会川崎幸病院
新中川病院
国立小児病院二宮分院
社会福祉法人恩賜財団済生会平塚病院
鎌倉ヒロ病院
湘南第一病院
海老名厚生病院
医療法人社団三思会東名厚木病院
医療法人社団柏枝会綾瀬厚生病院
多摩川病院

新潟県:

国立高田病院
新潟大学病院
新潟県立ガンセンター新潟病院
新潟県立新発田病院
新潟県立吉田病院
新潟県立小出病院
新潟県立六日町病院
新潟県立十日町病院
新潟県立中央病院
水原郷病院
巻町立国保病院
新潟県済生会 新潟総合病院
新潟県済生会 三条病院
豊栄病院
三条総合病院
中央総合病院
刈羽郡総合病院
新潟県厚生農協連 上越総合病院
新潟県厚生農協組合連頸南病院
糸魚川病院
厚生連佐渡総合病院
(医療)立川総合病院
新潟市民病院
(医療)敬愛会 末広橋病院
(医療)愛仁会 亀田第一病院
(社福)聖園病院
新潟中央病院

(医療)宮内病院
新潟南病院
新潟医療生協 木戸病院
新潟こぼり病院
西津市民病院
労働福祉事業団新潟労災病院
国康美所新潟病院
新潟県はまぐみ小児療育センター
新津医療生協新津医療センター病院
国立療養所寺泊病院
新潟県立坂町病院
弁天橋病院
舟江病院
白根健生病院
五泉病院
石黒病院
長岡療育園

富山県:

富山県立中央病院
上市厚生病院
新湊市民病院
市立砺波総合病院
富山赤十字病院
富山県済生会 高岡病院
厚生連高岡病院
農協滑川病院
社会保険 高岡病院
国康富山病院
水見市民病院
井波厚生病院
富山医科薬科大学医学部
富山県立高志学園
富山県高志リハビリテーション病院
八尾総合病院
富山労災病院
常願寺橋病院

石川県:

国立金沢病院
国立山中病院
金沢大学病院
石川県立中央病院
金沢市立病院
小松市民病院
町立富来病院
国保輪島病院
済生会石川総合病院
公立松任石川中央病院
公立鶴来総合病院
社保鳴和総合病院
国公共済連 北陸病院
金沢聖霊総合病院
松田小児科病院
恵寿総合病院
蓮井小児科病院
浅ノ川総合病院
国康医王病院
国保町立根上総合病院
国保珠州市総合病院
城北病院
金沢医科大学病院
金沢西病院
公立穴水総合病院
公立宇津総合病院
国民健康保険志雄病院

福井県：
国立鯖江病院
福井県立病院
町立三国病院
市立敦賀病院
公立小浜病院
福井赤十字病院
福井県済生会病院
社保勝山病院
（医療）安川病院
（医療）寿人堂 木村病院
（医療）林病院
笠原病院
（医療）福井愛育病院
医療法人福仁会病院
総合病院福井厚生病院
育養病院
産婦人科・小児科玉井病院

山梨県：
山梨県立中央病院
市立甲府病院
甲陽病院
国保富士吉田市立病院
（財）身延山病院
山梨労働医療協会 巨摩共立病院
（医療）加納岩総合病院
国療西甲府病院
甲府共立病院
（財）山梨厚生病院
上野原町立病院
山梨県立あけぼの医療福祉セカ
大月市立中央病院
山梨医科大学
三枝病院

長野県：
国立東信病院
国立松本病院
国療東長野病院
信州大学病院
長野県立阿南病院
長野県立木曾病院
長野県立須坂病院
佐久町立千曲病院
諏訪中央病院
市立大町総合病院
川西赤十字病院
諏訪赤十字病院
下伊那赤十字病院
総合病院 豊科赤十字病院
飯山赤十字病院
長野県厚生農協連 佐久総合病院
長野県厚生農協連 安曇病院
長野県厚生農協連 北信総合病院
長野県厚生農協連 新町病院
（医療）慈泉会 相澤病院
（医療）長野中央病院
佐久市立国保浅間総合病院
国療東松本病院
昭和伊南総合病院
町営辰野総合病院
飯田市立病院
（医療）城西病院
国保依田窪病院
（医療）健教会 柳沢病院
長野県厚生連富士見高原病院
医療法人心泉会上郷記念病院
長野県厚生連緑の井総合病院
医療法人新生病院

医療法人聖徳会西軽井沢病院
健和会病院
波田総合病院
松本協立病院
国立長野病院

岐阜県：
国療長良病院
岐阜県立岐阜病院
岐阜県立多治見病院
岐阜市立病院
羽島市立病院
国保関ヶ原病院
大垣市立病院
白鳥町国保白鳥病院
多治見市立病院
土岐市立総合病院
総合病院中津川市立病院
金山町国保病院
総合病院 高山赤十字病院
岐阜県厚生農業連 岐阜北総合病院
岐阜県厚生農協連 養老中央病院
岐阜県厚生農協連 揖斐総合病院
岐阜県厚生農協連 総合病院中濃病院
岐阜県厚生農協連 総合病院昭和病院
健保東濃病院
東海中央病院
郡上広域行政事務組合郡上中央病院
（医療）厚生会 木沢病院
岐阜県立下呂温泉病院
国保神岡町病院
国療岐阜病院
（医社）誠広会 平野総合病院
（医療）蘇西厚生会 松波病院
国保坂下病院
岐阜赤十字病院
藤掛第一病院
医療法人社団慈朋会澤田病院
河村病院
岐阜県厚生連久美愛病院

静岡県：
国立静岡病院
国立熱海病院
国立東静岡病院
国立浜松病院
伊豆通信病院
静岡県立総合病院
沼津市立病院
富士市立中央病院
富士宮市立病院
清水市立病院
共立蒲原総合病院
藤枝市立志太総合病院
焼津市立総合病院
棟原総合病院
掛川市立総合病院
磐田市立総合病院
袋井市立袋井市民病院
湖西総合病院
総合病院静岡赤十字病院
伊豆赤十字病院
中駿赤十字病院
総合病院 浜松赤十字病院
静岡済生会総合病院
総合病院 静岡厚生病院
総合病院 清水厚生病院
遠州総合病院
（財）恵愛会 吉原病院
県西部浜松医療センター

（医療）祥和会 伊豆下田病院
順天堂伊豆長岡病院
（社福）聖隷福祉事業団聖隷三方原病院
芦川胃腸科病院
市立島田市民病院
静岡県立こども病院
（社）有隣厚生会 富士病院
浜松労災病院
（医療）芙蓉協会 聖隷沼津病院
社会保険浜松病院
浜松北病院
駿東第一病院
平成記念病院
町立浜岡病院
引佐赤十字病院

愛知県：
国立名古屋病院
国立豊橋病院
国療中部病院
名古屋大学病院
（日本国鉄）名古屋鉄道病院
名古屋通信病院
名古屋市立東市民病院
名古屋市立城西病院
名古屋市立大宮病院
名古屋市立守山市民病院
豊橋市民病院
市立岡崎病院
市立半田病院
小牧市民病院
津島市民病院
公立尾陽病院
西尾市民病院
蒲郡市民病院
稲沢市民病院
常滑市民病院
新城市市民病院
尾西市民病院
名古屋第一赤十字病院
名古屋第二赤十字病院
愛知県厚生農協連 海南病院
愛知県厚生農協連 愛北病院
中日病院
国公共済 東海病院
国公共済連 名城病院
名古屋救済会病院
（財）名港福厚協会 臨港病院
（医療）愛生会 上飯田第一病院
（医療）笠寺病院
（医療）善常会 岡田病院
なるみ病院
（医療）総合大雄会病院
刈谷総合病院
三菱名古屋病院
（医療）宏潤会 大同病院
トヨタ記念病院
愛知県立第二青い鳥学園
（医療）青和会 中央病院
（医療）三九朗病院
蒲郡厚生館病院
名古屋市立緑市民病院
東海産業医療専門学校
（医療）清水会 相生山病院
中部労災病院
日本電信電話（株）NTT東海総合病院
（学校）藤田学園保健衛生大学病院
藤田学園保健衛生大学坂文種報徳会病院
（医療）エステル会セントラル病院
愛知県心身障害者ユニコーンこぼと学園
（医療）宏和会 浅井病院

(医療)宝美会 青山病院
愛知県厚生農協連 尾西病院
(医療)済美館病院
愛知県厚生農協連 知多厚生病院
旭労災病院
医療法人財団新和会八千代病院
小嶋病院
愛知県厚生農業連 渥美病院
医療法人幸会南陽病院
光生会病院
成田記念病院
尾州病院
医療法人青山病院
医療法人宏和会山口病院
医療法人徳洲会名古屋徳州会病院
安藤病院
知多市民病院
小牧第一病院
高浜市立病院

三重県:

医療鈴鹿病院
国立津病院
三重県立総合塩浜病院
三重大学病院
三重県立一志病院
三重県立志摩病院
桑名市民病院
松阪市民病院
市立伊勢総合病院
上野総合市民病院
尾鷲総合病院
山田赤十字病院
(恩賜財団)済生会松阪病院
三重県厚生農協連 中勢総合病院
三重県厚生農協連 松阪中央病院
社保羽津病院
(財)四日市港湾福利厚生協会築港病
山本総合病院
(医療)里仁会 二宮病院
(医療)博仁会 村瀬病院
医療三重病院
慶応大学伊勢慶応病院
(医療)上久保病院
津生協病院
医療法人ヨナハ病院
医療法人富田浜病院
医療法人審舞会鈴鹿回生病院
岡波総合病院

滋賀県:

大津赤十字病院
大津市民病院
水口町国保水口市民病院
公立甲賀病院
近江八幡市民病院
彦根市立病院
市立長浜病院
公立湖北総合病院
郡立高島病院
長浜赤十字病院
(社福)恩賜財団済生会滋賀県病院
総合病院健康保険滋賀病院
(財)豊郷病院
蒲生町国保蒲生町病院
(社福)第二びわこ学園
国立八日市病院
(医療)彦根中央病院
守山市民病院
滋賀県立小児保健医療センター

(医療)御上会 野洲病院
国療紫香楽病院
琵琶湖大橋病院
日野中央病院

京都府:

国立舞鶴病院
京都大学病院
京都専売病院
京都府立医科大学病院
京都府立与謝の海病院
京都市立病院
京都市立病院
公立南丹病院
市立舞鶴市民病院
京都第二赤十字病院
京都第一赤十字病院
社会保険京都病院
舞鶴共済病院
(社)信和会 安井病院
総合病院 日本バプテスト病院
(社)愛生会 山科病院
(財)丹後中央病院
(医療)西陣健康会 堀川病院
総合病院 京都南病院
富田病院
(社福)宇治病院
洛和会 丸太病院
国療南京都病院
三菱京都病院
西京都病院
国療宇多野病院
京都通信病院
(社福)京都保健会 右京病院
京都武田病院
ユニチカ中央病院
京都社会事業財団 京都桂病院
関西医科大学男山病院
(医療)竜王会 小沢病院
公立山城病院
(医療)蘇生会 蘇生会総合病院
総合病院 医仁会武田病院
関西医科大学附属洛西ニュータウン病院
(医療)宇治徳洲会病院
(医療)啓信会 京都木津川病院
(医療)医誠会 富士原病院
武田病院
金井病院
社団法人京都保健会京都市民連中央病院
医療法人社団恵仁会なき辻病院
医療法人社団洛和会洛和会音羽病院
京都市桃陽病院
医療法人朋友会さいわい病院
医療法人和松会大和六地蔵病院
医療法人社団聖会八幡中央病院
重症心身障害児施設花ノ木学園
京都府立医大小児疾患研究施設内科部門

大阪府:

国立大阪病院
国立大阪南病院
大阪大学医学部付属病院
大阪通信病院
大阪鉄道病院
大阪府立病院
大阪市立北市民病院
大阪市立桃山市民病院
大阪市立十三市民病院
大阪市立小児保健センター病院
大阪市立城北市民病院
大阪市立住吉市民病院

市立堺病院
市立豊中病院
市立枚方市民病院
東大阪市立中央病院
八尾市立病院
東大阪市立東病院
泉大津市立病院
市立岸和田市民病院
大阪市立少年保養所
市立貝塚病院
市立泉佐野病院
大阪赤十字病院
大阪府済生会 中津病院
(社福)恩賜財団済生会 野江病院
大阪府済生会 吹田病院
大阪府済生会 茨木病院
大阪厚生年金病院
大阪船員保険病院
大食連健保長堀病院
松下記念病院
国公共連 新香里病院
(財)住友病院
大阪掖済会病院
(財)聖バルナバ病院
大阪警察病院
(社福)石井記念愛染園 愛染橋病院
(財)西淀病院
(財)浅香山病院
(医療)ガラシア病院
(医療)彰摩会 大正病院
(医療)総合病院 南大阪病院
(医療)幸栄会 正和病院
(医療)同仁会 耳原総合病院
(医療)貴島会 貴島病院本院
(医療)宝生会 PL病院
(医療)生長会 府中病院
関西医科大学香里病院
関西医科大学病院
関西電力病院
(医療)厚生会 高津病院
大阪回生病院
淀川キリスト教病院
(財)新千里病院
(医療)真美会 中野小児病院
あびこ病院
市立柏原病院
大阪赤十字病院附属大手前整肢学園
(医療)有恵会 有沢総合病院
国立泉北病院
国療所刀根山病院
大阪労災病院
国立循環器病センター
大阪北通信病院
市立松原病院
和泉市立病院
高槻赤十字病院
星ヶ丘厚生年金病院
阪南中央病院
(医療)清恵会病院
岸和田徳洲会病院
(医療)有隣会 協立病院
上二病院
(社福)大阪社会医療セウ 附属病院
北大阪医療生活協同組合菜園病院
(医療)温心会 堺温心会病院
深井病院
富田林病院
交野病院
国療千石荘病院
大阪府立羽曳野病院
(財)結核予防会大阪府支部大阪病院
貴島中央病院

(医社)誠会 城東中央病院
(医療)協和会 北大阪病院
白雪記念病院
(医療)錦秀会 阪和泉北病院
箕面市立病院
(医療)大和ファミリー会 大和病院
(医療)恒昭会 藍野病院
友社病院
(医療)祐生会 みどりヶ丘病院
(医療)協仁会 小松病院
吉川病院
東大阪医療生協 東大阪生協病院
(医療)三世会 河内総合病院
(医療)徳洲会 八尾徳洲会病院
(医療)和仁会 今西病院
公立尾崎病院
田中北野田病院
泉北記念病院
恵生会病院
医療法人康生会泉佐野優人会病院
医療法人きっこう会総合病院多根病院
医誠会病院
医療法人泰仁会白山病院
朋愛病院
医療法人同友会共和病院
医療法人錦秀会阪和病院
医療法人愛善会浜田病院
医療法人杏林会金岡病院
正風病院
ベルランド総合病院
今井病院
医療法人和敬会復屋川南病院
医療法人清水会鶴見緑地病院
藤井寺市立藤井寺市民病院
医療法人新仁会新仁会病院
医療法人大植会葛城病院
医療法人河崎会河崎病院
医療法人孟仁会控南病院
阪本蒼生会蒼生病院
大東中央病院

兵庫県：
国立明石病院
国療兵庫中央病院
神戸大学病院
関西労災病院
兵庫県立尼崎病院
兵庫県立塚口病院
兵庫県立西宮病院
神戸市立中央市民病院
明石市立市民病院
市立三木市民病院
公立豊岡病院
西宮市立中央病院
加古川市民病院
市立川西病院
市立伊丹病院
公立八鹿病院
高砂市民病院
市立小野市民病院
市立西脇病院
姫路赤十字病院
柏原赤十字病院
社保神戸中央病院
公学共済 近畿中央病院
神戸海星病院
神戸済済会病院
(医療)川崎病院
総合病院 昭和病院
(医療)兼誠会 杉安病院
(医療)明和病院

総合病院 神鋼病院
三菱神戸病院
広畑製鉄所病院
石川島播磨重工業健保組合播磨病院
優生病院
神戸市立西市民病院
公立香住病院
神戸赤十字病院
砂子療育園
西宮回生病院
神戸通信病院
兵庫県立こども病院
公立社病院
(医療)楠和会 公文病院
兵庫医科大学病院
神戸博愛病院
(医療)薫風会 佐野病院
明舞中央病院
(医療)尚和会 第一病院
(医療)明倫会 宮地病院
須磨赤十字病院
(医療)姫路聖マリア病院
尼崎医療生協 尼崎医療生協病院
(医療)協和会協立病院
ベリスタ病院
国立加古川病院
神鋼加古川病院
私立はりま病院
(医療)和同会三木自由ヶ丘病院
私立吉川病院
公立神崎総合病院
田所病院
国立神戸病院
神戸朝日病院
新須磨病院
神戸徳洲会病院
正和病院
神戸アドベンチスト病院
真星病院
パルモア病院
順心病院
中町赤十字病院
赤穂中央病院
公立浜坂病院
平成病院

奈良県：
国立奈良病院
奈良県立医科大学病院
大和高田市立病院
吉野町国保吉野病院
総合病院町立大淀病院
(社福)済生会 奈良病院
社保大和郡山総合病院
国療西奈良病院
天理市立病院
奈良県立奈良病院
奈良県立五条病院
高の原中央病院
奈良県立三室病院
(医療)松下会 東生駒病院
社会福祉法人恩賜財団済生会御所病院
医療法人社団清心会桜井病院
友社病院

和歌山県：
和歌山県立医科大学病院
和歌山県立医科大学病院 紀北病院
海南市民病院
国保那賀病院

国保橋本市市民病院
国保日高総合病院
社保紀南総合病院
国保古座川病院
和歌山赤十字病院
済生会 有田病院
(医療)久仁会宇都宮胃腸肛門病院
国療和歌山病院
那智勝浦町立温泉病院
和歌山生協病院
医療法人青松会河西田村病院
国保野上厚生総合病院
医療法人南芳会紀和病院
医療法人千徳会桜ヶ丘病院
国立田辺病院

鳥取県：
国立米子病院
鳥取大学病院
鳥取県立中央病院
鳥取県立厚生病院
鳥取市立病院
岩美町国保岩美病院
鳥取県立済生会 境港病院
日野郡厚生農協連 日野病院
(医療)同愛会 博愛病院
鳥取生協病院

鳥根県：
国立大田病院
国立浜田病院
鳥根県立中央病院
総合病院 松江市立病院
雲南共存病院
鳥後町村立組合立隠岐病院
総合病院 益田赤十字病院
鳥根県済生会 江津病院
津和野共存病院
日原共存病院
町立広瀬病院
松江生協病院
鳥根医科大学病院
国療松江病院
六日市病院
社会福祉法人鳥根整肢学園
松江記念病院
益田地域医療センター医師会病院

岡山県：
岡山大学病院
総合病院 岡山市立市民病院
倉敷市立児島市民病院
市立井原市民病院
総合病院 岡山赤十字病院
総合病院岡山赤十字病院玉野分院
岡山済生会総合病院
川崎医科大学附属川崎病院
(財)倉敷中央病院
総合病院 津山中央病院
医療法人社団 光生病院
神原琴海病院
総合病院 水島中央病院
(医療)水清会 水島第一病院
新見中央病院
総合病院 落合病院
三菱水島病院
岡山協立病院
岡山博愛会病院
水島協同病院

金田病院
市立玉野市民病院
美作中央病院
川崎医科大学病院
国療南岡山病院
重井医学研究所附属病院
南くらしき病院
(医療) 誠和会 倉敷記念病院
川鉄水島病院
(医療) 清梁会 戸田病院
岡山労災病院
医療法人社団造山会まきび病院

広島県:

国立呉病院
国立福山病院
国療原病院
国療広島病院
広島大学病院
広島通信病院
県立安芸津病院
社保広島市民病院
世羅中央病院
総合病院 双三中央病院
広島赤十字・原爆病院
三原赤十字病院
総合病院 庄原赤十字病院
広島厚生連農協 尾道総合病院
厚生連 広島総合病院
広島県厚生農協連 吉田総合病院
日立造船健保因島総合病院
広島記念病院
呉共済病院
中国電力株式会社 中電病院
総合病院 三菱三原病院
マツダ株式会社 マツダ病院
福島生協病院
呉芸南病院
国療實茂病院
尾道市立市民病院
西条中央病院
日本鋼管福山病院
広島市立舟入病院
福山市市民病院
広島市立安佐市民病院
中国労災病院
県立身体障害者リハビリテーションセンター
因島市医師会病院
公立学校共済組合 中国中央病院
多田病院
三原市医師会病院
医療法人社団光仁会梶川病院
(医法) うすい会高陽ニュータウン病院
医療法人社団一陽会原田病院
呉市医師会病院
医療法人社団樹章会本永病院

山口県:

国立下関病院
国立岩国病院
国立山口病院
山口大学病院
山口県立中央病院
下関市立中央病院
光市立病院
小野田市立病院
山陽中央総合病院
総合病院 共立美東 国保病院
総合病院 山口赤十字病院
山口県厚生農協連 小郡第一総合病院

山口県厚生農協連 長門総合病院
総合病院 社保徳山中央病院
徳山医師会病院
(医療) 神徳会 三田尻病院
(株) 日立製作所 笠戸工場日立病院
(社) 林兼病院
国療山陽荘病院
徳山記念病院
(医療) 元洋会 森山病院
国療柳井病院
済生会 山口総合病院
宇部興産株式会社 中央病院
大和病院
医療法人社団同仁会下松記念病院
南陽病院
宇部協立病院

徳島県:

国立徳島療養所
徳島大学病院
徳島県立中央病院
徳島県立三好病院
徳島市民病院
町立半田病院
国保勝浦病院
小松島赤十字病院
徳島県厚生農協連 阿南共栄病院
厚生連 麻植協同病院
リハビリテーション大神子病院
木下病院
徳島県立海部病院
阿波病院
田崎病院
ひのみね整肢医療センターひのみね学園
嶺新館病院
田中病院

香川県:

国立善通寺病院
香川県立中央病院
大川総合病院
土庄町国保直営土庄病院
総合病院 坂出市立病院
公立三豊総合病院
高松赤十字病院
屋島総合病院
滝宮総合病院
社保栗林病院
高松病院
麻田総合病院
国療香川小児病院
香川県済生会病院
坂出マルチン病院
香川医科大学病院
高松平和病院
医療法人財団大樹会総合病院回生病院
医療法人社団慶昭会おおいし病院
詫間町立国民健康保険永康病院

愛媛県:

国立病院四国がんセンター
国療愛媛病院
愛媛県立中央病院
愛媛県立今治病院
県立北宇和病院
町立野村病院
市立宇和島病院
町立吉田総合病院
総合病院松山赤十字病院

住友別子病院
(財法) 積善会附属十全総合病院
愛媛大学病院
(医療) 繁葉会 石川病院
周桑病院企業団公立周桑病院
総合病院 松山市民病院
愛媛県立新居浜病院
社会福祉法人恩賜財団済生会今治病院
美須賀病院

高知県:

国立高知病院
高知県立中央病院
高知県立宿毛病院
仁淀地区国保組合病院
高知市立市民病院
土佐市立土佐市民病院
高知赤十字病院
高知県農協総合病院
(医療) 日新会 高陵病院
(医療) 千博会 古谷病院
高知県立西南病院
(医療) 仁生会 細木病院
(医療) 新松田会 愛宕病院
島本病院
(医療) 仁生会 三愛病院
(医療) 同仁会 同仁病院
高知医科大学病院
国療東高知病院
(医療) 高田会 高知記念病院
四国勤労病院
高知県立女芸病院
医療法人長生会大井田病院

福岡県:

国立小倉病院
国立福岡中央病院
国療南福岡病院
国療福岡東病院
国立久留米病院
九州大学病院
門司鉄道病院
福岡通信病院
北九州市立門司病院
北九州市立若松病院
北九州市立戸畑病院
大牟田市立病院
田川市立病院
筑後市立病院
八女公立病院
福岡赤十字病院
福岡県済生会八幡病院
福岡県済生会 福岡総合病院
九州厚生年金病院
国公共済連小倉病院
浜の町病院
公立学校共済 九州中央病院
(医療) 小倉中井病院
(医療) 雪の聖母会聖マリア病院
久留米大学病院
八幡製鉄所病院
社保小倉記念病院
九州労災病院
国公共済連 千早病院
北九州中央病院
(医療) 恵光会 原病院
森本病院
国立病院九州がんセンター
(医療) 聖和会 安永病院
(医療) 河野柏屋病院

自衛隊 福岡病院
鞍手町立病院
慈恵曾根病院
健和総合病院
(医療) 正信会 水戸病院
(社福) ゆうかり病院
芦屋中央病院
産業医科大学病院
福岡大学病院
三萩野病院
北九州市立総合療育センター
福岡市立こども病院感染症セク
(医法) 生松・原病院
米の山病院
岡部病院
(医療) 徳洲会 福岡徳洲会病
共立病院
福岡県立朝倉病院
(医療) 弘医会 太刀洗病院
財団法人健和会 大手町病院
川崎町立病院
甘木朝倉医師会病院
福岡市立第一病院
寺沢病院
牟田病院
和白病院
大牟田共立病院
菅原病院
医療法人清涼会岡垣記念病院
水巻共立病院
医療法人井上会藤栗病院
福岡大学筑紫病院
宮田記念病院
糸田町立緑ヶ丘病院
社会保険田川病院

佐賀県：

国立佐賀病院
国立嬉野病院
佐賀県立病院 好生館
西有田共立病院
唐津赤十字病院
社佐賀病院
国東佐賀病院
社保浦之崎病院
国立肥前療養所
前田病院
佐賀医科大学病院
鹿毛病院
(医療) 順天堂浦上病院
高島病院
江口病院

長崎県：

国公共済連佐世保共済病院
国療川棚病院
長崎大学病院
長崎市立市民病院
佐世保市立総合病院
大村市立病院
北松中央病院
五島中央病院
宍岐公立病院
健保諫早総合病院
長崎記念病院
(医療) 慈恵会 小江原病院
三菱重工長崎造船所病院
高島町立診療所
日本赤十字社 長崎原爆病院
井上病院

(医療) 池田病院
国療長崎病院
日本海員済会 長崎病院
重症心障児施設 むつみの家
長崎県立島原温泉病院
長崎県済生会病院
日浦病院
みさかえ園あゆみの家
(医療) 長愛会 菊地病院
国立対馬病院
長崎県離島医療圏組合対馬いづはら病院
長崎セントノーヴア病院
女の都病院
長崎県離島医療圏組合上五島病院

熊本県：

国療再春荘病院
N T T九州病院
陸上自衛隊熊本地区病院
市立熊本市民病院
荒尾市民病院
阿蘇中央病院
小国公立病院
国保水保市立総合医療セク
水保市立病院付属湯之児病院
球磨郡公立多良木病院
上天草総合病院
熊本赤十字病院
健保人吉総合病院
国公共済連総合病院熊本中央病院
(医療) 加来会 慶徳加来病院
牛深市民病院
(医療) 九州記念病院
(医療) 天草病院
熊本市医師会 熊本地域医療セク
阿蘇温泉病院
(医療) 坂本病院

小川明星病院

(医療) 丸田会 丸田病院
(社福) 慈永会 はまゆう学園
医療法人堀尾会熊本託麻台病院
竜山病院
玉名明星病院
医療法人信岡会菊池中央病院
中央町温石病院
城南病院
医療法人社団誠心会杉上病院

大分県：

国立別府病院
国療西別府病院
国立中津病院
大分県立病院
東国東地域国保総合病院
山香町立国保総合病院
大分医科大学病院
大分健生病院
健保南海病院
(医療) 慈恵会 西田病院
医療法人財団天堂へつき病院
大分岡病院
医療法人長門真記念会長門記念病院
大分県立三重病院
竹田医師会病院

宮崎県：

県立宮崎病院
県立延岡病院
国保中部病院

小林市立市民病院
高千穂町立病院
串間市国保病院
旭化成健保組合病院
(財) 潤和会 延岡中央病院
国療宮崎病院
国立宮崎東病院
宮崎医科大学付属病院
宮崎市医師会病院
医療法人敬和会戸嶋病院
社会福祉法人恩賜財団済生会日向病院
西都市西児湯医師会立 西部救急病院

鹿児島県：

国立南九州中央病院
鹿児島大学病院
鹿児島市立病院
出水市立病院
(医療) 明星会 園田病院
田原病院
隼人温泉病院
国療南九州病院
鹿児島生協病院
阿久根市民病院
国分中央病院
鹿児島市医師会病院
鹿児島県立薩南病院
市比野温泉病院
曾於郡医師会立病院
医療法人徳洲会鹿児島徳洲会病院
三宅病院
財団法人今給黎病院
やまびこ整肢学園
薩摩郡医師会病院
大隈鹿屋病院

沖縄県：

沖縄赤十字病院
琉球大学病院
県立八重山病院
沖縄協同病院
(医療) 緑水会 宜野湾記念病院
(医療) おもと会 大浜第1病院
沖縄整肢療護園
沖縄県立南部病院
(医療) 友愛会 豊見城中央病院
もとぶ野毛病院
与那国病院
医療法人中部徳洲会病院
医療法人かりゆし会ハトラフ病院
中部協同病院
瀬平病院
沖縄県立沖縄療育園
医療法人信和会沖縄第一病院
同仁病院
与那原中央病院

川崎病調査票 (第11回全国調査)

症例がない場合でも「施設に関する質問」をご記入の上、本調査票をご返送下さい。(できましたら2月15日までにご返送下さい)

主治医 (代表者) ご芳名

厚生省川崎病研究班 (班長 川崎富作) 作成

お願い

昭和64年1月1日～平成2年12月31日の2年間に発症し、貴施設に受診した川崎病患者全員についてご記入下さい (他施設からの、または他施設への紹介患者も含めます)。

住所、電話番号に誤りがある場合、ご訂正下さい。

No (記入しない)	フリガナ 患者氏名	発病時患者住所	住所コード (記入しない)	性	生年月日	初診年月日	初診病日	川崎病としての 確実度	薬剤の使用			再発	同胞例	死亡	心後遺症	心エコーの実施
									ステロイド	抗生物質	アスピリン					
				1男 2女	昭平	昭平	第	1 2	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり
				1男 2女	昭平	昭平	第	1 2	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり
				1男 2女	昭平	昭平	第	1 2	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり
				1男 2女	昭平	昭平	第	1 2	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり
				1男 2女	昭平	昭平	第	1 2	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり
				1男 2女	昭平	昭平	第	1 2	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり
				1男 2女	昭平	昭平	第	1 2	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり
				1男 2女	昭平	昭平	第	1 2	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり
				1男 2女	昭平	昭平	第	1 2	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり	なし あり

施設に関する質問 (本調査票を2枚以上ご使用の場合は1枚目にご記入下さい)

- 貴院のベット数はいくつですか
病室全体 床 小児科 床 非常勤医 人
常勤医 人 非常勤医 人
 - 貴院の小児科医は何人ですか
計 例 (男 例, 女 例)
 - 今回ご報告いただいた症例のうち、主要症状4つのみで、冠動脈瘤(拡大も含む)が認められたために本症と診断されたものは、何例ですか。(診断の手引きの赤字に相当する症例)
 - 貴院では川崎病児が入院したら急性期経過中に反復して、心断層エコー図検査ができますか。
1 はい 2 いいえ
5. 川崎病の後遺症をもつ患者に対して冠動脈造影検査が必要な場合、原則としてどのようにしていますか。
1 本院で実施する 2 他施設を紹介する
3 該当する患者がいない 4 その他()
差し支えなければ施設名を記入して下さい。
6. 貴院では昨年(1990年)1年間に小児の冠動脈造影検査を実施しましたか(他施設紹介例は除く)。
1 した(①1~4例 ②5~9例 ③10~19例 ④20~49例 ⑤50例以上)
2 しない

記入上の注意
1 けたの数は右づめ
3月10日→3月10日
100日以上は99

死亡例について以下の点も記入して下さい
(前回生存として報告され、後に死亡した症例も含む)

氏名	初診年月日	死亡年月日	剖検の有無
	年 月 日	年 月 日	1 なし 2 あり
	年 月 日	年 月 日	1 なし 2 あり

◎心後遺症の定義
発病1ヵ月以降に冠動脈拡大(動脈瘤を含む)、狭窄(閉塞を含む)、心筋梗塞または弁膜病変の認められること

返送先 〒329-04 栃木県河内郡南河内町薬師寺3311-1
自治医科大学公衆衛生学教室気付
川崎病研究疫学調査事務局(0285-44-2111, 内線3106, 3109)